

ラクラク算数教室・ドキドキ文化教室 参加者の感想

2016年8月30日分

1 児童

- 算数の割り算やかけざんをいっぱいやって、つかれたけど、少し早くできるようになれたのでよかったです。銅鐸を作るのが大変だったけど面白かったです。俳句は作るのに時間がかかったけど、楽しかったです。(4年)
- 苦手なところや分からないことを教えてくれたからすごくわかりやすくて、楽しかったです。銅鐸、みんなで楽しく作りました。とても楽しくてちょっと失敗しちゃったけど、出来はよかったので楽しかったです。俳句はいろいろな季語を使って、すごくよい俳句を作ってとても楽しかった。みんなで俳句を作りたいと思いました。(4年)
- 昨日と違う先生だったけど、楽しくできてよかったです。もっともっとスムーズにできるようになりました。銅鐸は先生と一緒に作り、のりでくっつけたけどできて良かったです。俳句は作るのが難しかったけど、三つ作れて良かったです。家でも作ってみたいです。季語を入れるのが難しかったです。(4年)
- 割り算の筆算とかコンパスを使ったりすることが楽しかったです。大きな数が難しかったです。銅鐸ははさみで切った紙をのりではったりしたのが楽しかったです。最初俳句は前々思いつかなかったけど後から一杯思いついたのが楽しかったです。(4年)
- 時計の問題がでできなかったことをクマ先生に言うと時計のプリントを出されたのが最悪だった。俳句を一杯作り大学生にほめられたのが嬉しかった。(4年)
- 初めて習うこと、5年生で習うことを大学生のお兄さんが優しく教えてくれた。銅鐸をはじめて作ったのが楽しかった。俳句は色々な俳句が出来て良かったです。(4年)
- とても分かりやすく大学生が教えてくれたのが良かったです。分かりやすく俳句を教えてください、とても良かったです。カードを作ってやったので楽しく学ぶことができました。もっと俳句のことを知りたいと思いました。(5年)
- 大学生のお姉さんたちに沢山のことを教えてもらって、わからないところができるようになりました。まだ習ってないところもやりました。少しずつ覚えられて良かったです。銅鐸づくりはそるところを失敗ないようにできました。俳句はたくさん書くことができましたよかったです。(5年)
- 算数の文章題が苦手だったけれど分からなかったところを教えて貰ったので、とても勉強になりました。銅鐸を作って、難しい所もあったけどいろいろな人に教えて貰いながらできたので、とても満足する銅鐸を作ることができました。俳句はいっぱいくれたので良かったです。とても勉強になりました。31日も楽しみです。今日はいっぱい勉強することができました。(5年)
- 復習が出来たので良かったです。俳句はカードがあったので作りやすかったです。(5年)
- 宿題を教えてもらって良かったです。銅鐸は丸みを作るのが難しかった。(5年)
- 私は算数プリントをやりました。たまに間違っただけど、やり直して、○をつけてもらった。良い思い出になりました。五七五の物ばかりだったけど、傑作ばかりでした。「夏休みあの子この子もユーチューブ」が一番面白かったです。(5年)
- 初めて見た式を分かりやすく説明してくれました。銅鐸づくりは曲げるのが大変でした。俳句は楽しくやる事が出来てよかった。(5年)

2 大学生(「ラクラク算数教室」の感想・来年度への提案)

- 算数教室で児童に算数教えていて、自分は児童の学習内容の把握が勉強になりました。午前でもった子と午後にもった子は違う子でしたけど、同じ4年生でも2人のレベルは全

然違っていました。その子は塾に行ったりしているのもあると思いますが、計算のスピードの違いなど児童によって得手・不得手があり、その子に応じた勉強や教え方があるのだと思いました。しっかり児童を見て、この子には何をしてあげられるのだろうか考える事が大事だと思いました。来年に向けては、やはり教材についてが考えられると思います。

●算数を教えて勉強になった事は考える事の難しさです。今日担当した子は基礎から分かっていない所があったので、内容を教える中でどのように復習を入れていくかということ学びました。上手く復習しながら、該当学年の学習を入れていく事で同時に学習が出来ていくと思いました。片葩小で昨年度あった教科書が置いてあると良いと思いました。今日も学生スタッフが「これ何年で学ぶのか」と困惑していました。それから打合せなども事前に出来るが良いと思います。

●時間が多くあるので、塾よりも自分の好きなことを教えることができ、「教える」ということの練習となりました。準備日のような日が1日あるとこちらにしても少しスムーズに行うことができたと思います。想像よりも難しく、想像よりも楽しい2日間でした。

●「昨日お昼を食べた先生だ」と言われて、昨日よりも早く打ち解けた。昨日やったワークで苦手分野を中心にとりどころ違う単元を入れて行った。先輩方の接し方を真似たら、また集中していろいろな様子が見られ、勉強となりました。

●昨日同様楽しく教えることができたと思います。特に教えることの難しさや伝え片を試行錯誤しながら、学べたと思います。提案としては教科書が1冊あるとどこまで履修済みか把握できるので良いかなと思いました。裏紙もあると助かります。

●子どもの何が苦手なのか得意なのかを見極める力が一層伸びた気がしました。塾でのアルバイトで集団を相手に教えるため、1対1の時の対応がおろそかになっていました。教材は色々な分野が少しずつあった方がよかった。色々な分野をやり、教師がどこができていないかを判断し、次にコピーするのに楽だと思ふ。

●教材を選ぶことは難しかった。だが途中から教えた子の苦手なところなどよく見ると、一緒に解いていると良く分かった。勝手にやらせているのではなく隣で良く見て一緒にやる事が大事だと思いました。長い時間の集中力がもたないため、途中で休憩を入れるなど午後くらいから分かるようになってきた。児童を相手にして、教えることはないため、貴重な時間でとても自分も楽しめました。2日間ありがとうございました。

●子どもたちの分からないところは人それぞれで、個に対応していくことの大切さを学んだ。また普段は子どもたち全員集団で授業を受けているが、それでも分からないところを気軽に聞ける環境が大切だと思った。子どもたちがそれぞれ時間の中でやりたい事をアンケートなどで聞いておくと、私たちも教材を用意しやすいと思います。

●進度の違う子を2人同時に見るのは大変でした。一人ひとり苦手な単元が違うので、その子が苦手な所を地雄心にやりました。文章問題は出てくる数字を勘でかけ算したりわり算にしていたので、きちんと立式の意味も児童に説明させることが大切だと気がつきました。裏紙がほしいです。

●今日の子は少し勉強にあきがちの子でした。やはり教える立場になる際は、その子の現状をしっかり把握し、その子にあったやり方をしてなかったと感じました。やはり算数だけでは辛い面があります。午前は算数、午後は他の教科をやってみたいです。ずっと算数をやっていて、逆にいやにならないかと思いました。

●今日は学校だけでなく塾で習ったことも含めて分数を教えました。教えてみて最も感じたことは子どもたちは習った問題は解けるけれど、それが何故そうなるのか、やり方は分かっているけど法則がイマイチ分かっていないことでした。理由を説明したところ、計算ミスが少なくなり、応用問題も解けるようになりました。プリント集は分野ごとに難易度を三つに分けたらどうでしょうか。



